

新世界
NEW WORLD



全国高职高专院校规划教材·商务日语专业

にほんごつうやく・ほんやく

日语翻译

龙开胜 王珏 主编



对外经济贸易大学出版社

University of International Business and Economics Press

新世界
NEW WORLD

全国高职高专院校规划教材·商务日语专业



日 语 翻 译

主 编 龙开胜 王 珏
副主编 王晓寒 杨 敏
审 稿 菅井右

对外经济贸易大学出版社
中国·北京

图书在版编目 (CIP) 数据

日语翻译 / 龙开胜, 王珏主编. —北京: 对外经济贸易大学出版社, 2010
新世界全国高职高专院校规划教材. 商务日语专业
ISBN 978-7-81134-810-1

I. ①日… II. ①龙… ②王… III. ①日语 - 翻译 - 高等学校: 技术学校 - 教材 IV. ①H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 167597 号

© 2010 年 对外经济贸易大学出版社出版发行

版权所有 翻印必究

日语翻译

龙开胜 王珏 主编
责任编辑: 周洁 胡小平

对外经济贸易大学出版社
北京市朝阳区惠新东街 10 号 邮政编码: 100029
邮购电话: 010-64492338 发行部电话: 010-64492342
网址: <http://www.uibep.com> E-mail: uibep@126.com

山东省沂南县汇丰印刷有限公司印装 新华书店北京发行所发行
成品尺寸: 185mm × 260mm 12.75 印张 295 千字
2010 年 9 月北京第 1 版 2010 年 9 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-81134-810-1
印数: 0 001 - 3 000 册 定价: 20.00 元

出版说明

“新世界全国高职高专院校规划教材·商务日语专业”是对外经济贸易大学出版社联合全国重点职业学院的骨干教师推出的一套全新的商务日语系列教材。本套教材适用于全国高职高专院校日语专业商务/应用/外贸日语方向的学生。

目前高职教育提出了“工学结合，项目为中心，案例驱动教学，边讲边练”为核心的理念。本套教材就是贯彻这个理念，着眼于提高学生实际操作能力和就业能力，采取了模块化、多案例、互动式、重实训的编写方式，让学生在理论够用的基础上，在实训环节上有所突破。

根据国家教育指导思想，目前我国高职高专教育的培养目标是以能力培养和技术应用为本位，其基础理论教学以应用为目的、够用为尺度、就业为导向；教材强调应用性和适用性，符合高职高专教育的特点，既能满足学科教育又能满足职业资格教育的“双证书”（毕业证和技术等级证）教学的需要。本套教材编写始终贯彻商务日语教学的基本思路：将日语听说读写译技能与商务知识有机融合，使学生在提高日语语言技能的同时了解有关商务知识，造就学生“两条腿走路”的本领，培养以商务知识为底蕴、语言技能为依托的新时代复合型、实用型人才。

本套教材包括《日语综合教程》、《日语听力》、《日语翻译》、《日语阅读》、《商务日语口语》、《商务日语报刊文章选读》、《商务日语函电》、《日本文化与礼仪》等。本套教材不是封闭的，而是随着教学模式、课程设置和课时的变化，不断推出新的教材。

本套教材的作者不仅具有丰富的教学经验，而且具有本专业中级以上职称、企业第一线工作经历，主持或参与过多项应用技术研究，这是本套教材编写质量的重要保证。

此外，本套教材配有教师用书或课件等立体化教学资源，供教师教学参考（见书末赠送课件说明）。

对外经济贸易大学出版社

2008年5月

前 言

一、本教材的编写背景

近年来,随着高职日语教育在全国各地迅速发展,高职日语专业的教材建设也已成为我国日语界,特别是一线高职日语教师关注的重要课题。其中日语翻译课是各高职院校高年级阶段普遍开设的主要课程之一。开发出一本与高职日语专业的培养目标、课程体系、教学计划相吻合的,充分体现高职特色的日语翻译教材是当前高职日语教学所急需解决的问题。

二、本教材的使用对象

本教材是针对高职高专日语专业大三上学期的学生或具有同等水平的日语学习爱好者而编写的。

三、本教材的特点

本教材具有如下特点:

(一)突出适用性。

本教材的编写组主要由两种人员构成:一是在从事高等职业教育之前在日资企业工作过多年、具有丰富翻译实践经验的一线高职日语教师,二是直接来自大型合资企业的专业翻译人员。合理的人员构成,避免了教材编写出现闭门造车,视野狭窄,而确保了教材既能符合翻译教学的要求,又能适合社会、市场的要求。

(二)强调实践性兼顾理论

高职高专学生经过2年的在校学习,还只能说基本上完成中级阶段的日语学习,整体水平还不高。另外,由于实训课占总课时量的比例大,相比本科院校的日语专业,高职的日语专业课程的总课时要少很多,其中日语翻译总课时一般只有80课时左右。更重要的是,高职日语专业是以培养具有一定技能的高级应用型外语人才为目标,学生毕业后从事专职翻译工作的比例很少。因此,针对这些特点,本教材坚持适度、够用的原则,重新构筑日语翻译课程的理论体系,不涉及太多、太深奥的翻译理论知识。同时,通过介绍科学的练习方法、提供难易适度的素材,强调实践练习,提高学生的日语综合运用能力。

(三)口译为主,兼顾笔译

为更有效地提升学生的外语交际能力。本教材坚持学以致用的理念,打破传统的口译与笔译教材的明显界限,以实际工作中的口译场景为主要素材,并结合口译场景,每个章节都配以1~2段短文供学习者进行中日互译的笔译练习。

(四) 注重商务特色, 兼顾其他

本教材以日本中部经济访问团应广州贸易促进会的邀请来中国进行商务访问为线索。除了机场迎接、拜访·欢迎宴会、工厂参观·公司介绍、谈判·签约、研讨会等重要商务活动场景之外, 还涉及到观光旅游、中日两国社会的传统文化、流行文化、动漫、金融以及当前热门话题等诸多素材。各个环节衔接自然, 场面生动, 让学习者在学习语言知识的同时潜移默化地掌握国际商务活动的程序、礼仪等, 真正实现日语语言运用能力的提高。

(五) 布局合理, 编写细致

1. 本教材通篇采用中日文对照, 有利于学生及时对比中日文在语言结构、表达习惯上的异同, 从而更好地掌握中日文语言的特点。也便于学习者进行中日互译的自主练习。

2. 作为翻译教材, 本教材对单词、句型不另行注释。学习者可以在预习时利用其他工具书对重点单词、句型的意义与用法进行确认, 这样的预习是必要的, 比简单的机械记忆更有效。

3. 结合章节内容, 适当插入了知识窗的栏目。知识窗具有趣味性与实用性, 是对相应章节内容的有益补充。

4. 本教材另外配有电子教案, 提供一定的教学方法供参考, 也给授课教师进行教材优化时一定的提示。授课教师可以查看书后的“赠送课件说明”, 以便获取。

四、编写任务承担

本教材由广州铁路职业技术学院应用日语专业负责人龙开胜、广州番禺职业技术学院商务日语专业教师王珏担任主编, 广东女子职业技术学院商务日语专业教师王晓寒、东风日产乘用车有限公司总经办专职翻译杨敏担任副主编。

各章节的编者为: 杨敏: 第一、二章; 龙开胜: 第三章第 1 节; 王珏: 第三章第 2、3、4、5 节; 王晓寒: 第三章第 6、7、8、9 节。由龙开胜确定最后选材, 对稿件进行了全面整理。广州樱花日语培训中心副校长、日籍专家菅井右对全书进行了审稿。

五、致谢

在本教材编写过程中, 我们参阅了国内外相关资料, 受益匪浅, 在此深表感谢。

另外, 中山大学外国语学院佟君教授、广州铁路职业技术学院应用外语系主任王友良副教授对本教材的编写给与了许多指导和建议。广州铁路职业技术学院图书馆赵祥擎老师在排版上给与了大力支持。在此一并表示感谢。

编者

2010年7月

目 録

第1章 通訳の基礎知識及び通訳技能の基礎練習	1
第1節 通訳の基礎知識	2
第2節 通訳技能の基礎練習	6
第2章 日本語と中国語の特徴及び翻訳のテクニック	19
第1節 日本語と中国語の特徴	20
第2節 中国語を日本語に訳す	24
第3節 日本語を中国語に訳す	32
第3章 通訳の実践練習	37
第1節 出迎え・案内	38
第2節 表敬訪問・歓迎宴会	58
第3節 観光・案内	86
第4節 工場見学・会社案内	98
第5節 交渉・契約	118
第6節 シンポジウム	130
第7節 宴会挨拶	148
第8節 日本事情・中国事情	156
第9節 帰国挨拶	168
参考答案	179
主要参考文献	195

第 1 章

通訳の基礎知識及 び通訳技能の基礎練習

第 1 章

口译的基础知识与 技能的基础练习

第 1 節 通訳の基礎知識

一、通訳の種類

まず種類しゅるいについては、大きく次の四つに分けられます。

1. 観光ガイド通訳—観光専門かんこうのガイド。主として旅行社からの依頼による。添乗員けんむを兼務する場合もあり、名所旧跡めいしょきゅうせきの知識や歴史の知識、各地の事情に関する知識が求められます。

2. 随行通訳—訪問代表団ずいこうについて行動をともにし、滞在中のホテルの送迎、表敬訪問ひょうけいはいほん、視察、商談、会議、パーティー、観光などの通訳をする。

3. 放送通訳—テレビのニュース番組などの通訳

4. 会議通訳—主に国際会議・セミナー・シンポジウムの通訳

二、通訳の形態

1. 逐次通訳—逐次通訳というのは最も広く採用されている通訳方式です。発言者の話が途切れたところで通訳をします。一部の会議を除き、セミナーや商談、アテンド、視察、少人数の会議、政府首脳会談にいたるまで通訳はほとんどこの逐次通訳で行われてます。逐次通訳は外国語と母国語の高い運用能力以外に、度胸のよさというのも大変必要となります。日英通訳の達人である小松達也こまつたつやし氏はかつて、「通訳の仕事はいろいろな要素を含んだ総合的なパフォーマンス」だ。その中で言葉自体が占める割合はせいぜい30パーセントくらいだろうと思う。言葉以外に通訳技術、知識、自信や落ち着きおちつき、声の質などの要素が加わる」と述べています。「通訳は逐次に始まり、逐次に終わる」と言われているように、逐次通訳はまさに通訳の基本であり、また、より完全な逐次通訳は通訳者にとって最高の目標でもあります。

2. 同時通訳—同時通訳は、発言者が話し始めるのとほぼ同時に訳し始め、話し終わるとほぼ同時に訳し終えるというものです。普通の通訳者に求められる言葉の高い

第1节 口译的基础知识

一、口译的种类

就种类而言，可大体分为以下四类。

1. 导游口译——观光导游。主要是旅行社委托，有时兼做带队，需要掌握名胜古迹的知识和历史知识及各地风情。

2. 陪同口译——跟随访问代表团的行动，担当其逗留期间的酒店接送，礼节访问，商务会谈，会议，宴会，观光等时候的口译。

3. 节目口译——电视新闻等节目的口译。

4. 会议口译——主要是国际会议，研讨会，论坛的口译。

二、口译的形式

1. 交互传译——交互传译是应用最广泛的口译形式。在讲话者告一段落时开始口译。除了部分会议以外，研讨会，商务会谈，陪同，考察，小型会议乃至政府首脑会谈大都使用这种交传形式。译员不仅要有很强的外语和母语运用能力，还要有胆量。日英口译的名家小松达也先生也曾这样说：“口译工作是包含了许多要素在内的综合性的表演，我觉得在其中语言本身最多占了30%左右的分量，除了语言之外，还有口译技巧，知识，自信，沉稳，音质等要素。”“口译始于交传终于交传”。交传是口译的基础，同时追求更完美的交传又是口译工作者的最高目标。

2. 同声传译——同声传译是几乎在讲话者开始讲话的同时开始口译，然后与讲话者几乎同时结束。除了一般译员需具备的较强的语言运用能力外，还需要具备高度集中的注

運用能力以外に、高度な集中力、即応力、専門知識の豊富ほうふさなどが要求されます。

3. 時差通訳—時差通訳は定時のニュース番組に対応する方法と言えます。放送局が海外からのニュースを受信して、国内で放送されるまでは多少時差があります。受信から放送までの間に、録画されたニュースを聞き、通訳の準備をして放送での通訳に臨のぞみます。外国語のレベルが高いこと、母国語の表現力が豊かであること、時事に精通せいっつしていることなどは一般の通訳に対する要求と共通していますが、会議通訳などとは異なる別の要求がなされます。テレビを見ている幅広い世代の一般視聴者に聞いてすぐ意味を理解してもらえる分かりやすい言葉を選んで、明瞭めいりょうな日本語で話すことも非常に大事な点です。

4. ウィスパリング—これは通訳機材を使わず、通訳をする相手の耳元で小声で同時通訳をする方法です。通訳を必要とする人が少数であったり、同通機材が無い場合などの場合、この方式が用いられます。

意力，应变力，丰富的专业知识。

3. 时差口——时差口译是应对固定时间段的新闻节目时所使用的方法。电视台接收到国外的新闻，然后在国内播放，这之间多少有些许时差。从接受到播放，这期间听取录制下来的新闻，做好口译的准备工作，然后进行播放。该口译需要外语水平高，母语表达能力要强，精通时事等要求与其他形式口译一样的，但此外重要的一点是：电视节目的收看者在年龄上跨度很大，所以口译时必须选择简单易懂，清晰明了的语言，使普通观众能够一听就懂。

4. 耳语口译——这种口译不使用口译器材，只是在对方的耳边小声的进行同声传译。需要口译服务的人较少或者没有同传器材时使用这种方法。

第2節 通訳技能の基礎練習

一、学習の心得

通訳上達の為には、まず高度な語学力が必要なことは言うまでもありません。通訳を目指す人の視点で、学習の要点について整理してみると、「聴く」、「話す」、「読む」、「訳す」の四つが出来なければならないということです。これはできるようになるまで、多く、つまり何回も繰り返して聴き、話し、読み、訳せということに他なりません。

1. 聴くーリスニング

「聴く」事こそ「話す」ことの基礎と言えるのです。たくさん聴くことによって、日本語の特徴を徐々につかむ事が出来るようになります。単に日本語の語感を養うだけではなく、文章構造を体得し、日本語独特のリズムや間の取り方を身につけられます。時事報道のような書き言葉を主としたもの他に、ドラマやトーク番組などから通俗的な話し言葉に接したほうがいいです。これらを活用して日本語になじんでいくのです。

2. 話す一声を出して読む

話すといっても、手元にあるテキストの例文を声にして読むことから始めるのです。読む時はなるべく大きな声を出して読むということです。大きな声を出すと、ごまかしが出来ません。また、脳に与える刺激も強い為、記憶に残りやすいというのも大きなメリットと言えましょう。読む回数がもちろん多ければ多いほどよいのです。声を出して読むことで、日本語の発音、文法、特有の言い回しなどが身につけてきます。これは見たり、書いたりする学習ではなかなか得られません。使える日本語、特に話す力、書く力をつけるためには体で覚える必要があるのです。

3. 読むー3読

「3読」とは、多読・速読・熟読のこと。多読でより多くの日本語をインプットし、速読で日本語をより早いスピードで理解し、熟読で文章構造とニュアンスを把握します。

第2节 口译技能的基础练习

一、学习要领

要想提高口译能力首先一定要有很强的语言能力，这一点是无需多言的。从口译学习者的角度来整理一下学习的要点，那就是一定要做到“听”“说”“读”“译”。为了能够具备这四项能力，一定要多听，多说，多读，多译，反复这些练习是唯一的方法。

1. 听一听

“听”是“说”的基础。通过多听，渐渐可以抓住日语的特点。不仅是培养日语的语感，还可以掌握文章结构和日语独特的节奏以及断句停顿。时事报道是以书面语为主，此外通过电视剧，谈话节目等可以接触到很通俗的口语，可以利用这些不断熟悉日语。

2. 说一出声朗读

虽然是“说”，但还要从大声朗读开始，手中现有的课本即可。读的时候尽量大声地读。大声读可以保证吐字发音清晰。另外，大声朗读还有一个很大的益处，那就是可以给予大脑很强的刺激，因此很容易记住。读的遍数越多越好。通过出声朗读，可以掌握日语的发音，语法和特有的表达方式。这些是在看或写的过程中得不到的。为了掌握实际应用的日语，特别是说和写的能力，有必要用身体去记忆。

3. 读一三读

三读是指多读，速读，熟读。多读可以吸收更多的日语语言，熟读可以以更快的熟读理解日语，熟读可以掌握文章构造和语言的微妙差异。

多読とは文字通り多くの日本語を読むことです。多読は声を出さなくても練習できますから、心がけ次第でいつでもどこでもできる練習です。素材は何を選んでもかまいませんが、一つの分野に偏ることなく、さまざまな分野の読み物に挑戦するといいです。

速読はとにかく早いスピードでどんどん声を出して文章を読んでいくことです。この練習により、文章自体の意味や構文なども分かるようになり、日本語の音も綺麗に出せるようになります。学習歴の短い人は少し大変かもしれませんが、誰にでもできる簡単なトレーニングで、必ず効果が得られます。

熟読は単語の意味や文章の意味、構成をじっくり考えながら声をだして読むことです。速読と平行して練習していけば、メリハリかつスピードのあるネイティブ・スピーカに近い感じで読めるようになります。

これら「3 読」のどの一つがかけてもいけません。日常的にコツコツやるのはもちろんよいのですが、1 か月から3 か月間集中して行うのも効果的です。

あらゆるものが教材になります。わざわざそのための本を買わなくても、身近にある新聞や雑誌、小説などでOKです。

4. 訳す—思考力と判断力を養う

「訳す」というのは、言うまでもなく、先に述べた「聴く」「話す」「読む」をしっかり把握した上ではじめてできるものです。

小松達也氏は、通訳者は「単に英語がペラペラしゃべれるだけでは駄目。相手の意図するところを正確に伝える為には、発言の背景を理解するだけの思考力と判断力が必要である。」と言っています。

二、通訳の基礎練習

1. クイック・レスポンス (quick response)

「目的・効果」

日本語から中国語、中国語から日本語にすばやく頭を切り替え、反応できるようにします。通訳者の基本的な反応のすばやさやを養うと同時に、語彙力の強化、正しい発音の定着も期待できます。

多读，顾名思义，就是多阅读日语。多读可以不出声的练习，只要用心随时随地都可以做。阅读材料可以随意选择，但最好不要偏重某一领域，而是挑战各种领域。

速读就是快速地，出声朗读文章。通过该练习，可以明晰文章本身的意思和结构，日语的发音也会变得好听。对于学习时间较短的人可能有些吃力，但这个练习适合于任何人，一定会有效果。

熟读是指一边认真思考单词的意思、文章的意思和结构，一边出声朗读。和熟读一起并行练习，读起来就会抑扬顿挫，感觉更接近以日语为母语的人。

以上三读缺一不可。日常分散练习也可以，但集中1—3个月进行则更有效果。

各种读物都可以作为教材。不必特意购买专用教材书，使用手头的报纸、杂志、小说即可。

4. 译一培养思考能力和判断能力

关于“译”，自不必说，必须在很好地掌握了前面所说的“听”“说”“读”之后才可以做到。

小松达也先生也曾说：“口译仅是英语讲的流利还不行。要想正确传达对方的意思，必须具备理解讲话背景的思考能力和判断能力。”

二、口译的基础练习

1. 条件反射式练习 (quick response)

“目的·效果”

努力做到能够迅速反应，迅速地从日语反应出汉语，从汉语反应出日语。培养译员的最基本的迅速反应的同时，也有助于强化词汇，掌握正确发音。

「教材」

一般の辞書などから単語を拾うよりも、普段使っているテキストや音声テープ、新聞、雑誌などから単語(語句)を集める方がよいでしょう。

「訓練方法」

音声テープ、あるいはカードなどに書かれている単語や語句の訳を即座に口頭で訳します。

2. シャドウイング(shadowing)

「目的・効果」

通訳者に不可欠なワーキングボキャブラリ(自在に使いこなせる言葉)を増やすための基本的かつ効果的な訓練です。

中国語のシャドウイングは中国語の表現力や語彙力のアップに効果的です。日本語のシャドウイングは、ネイティブスピーカーの発音やリズム、イントネーション、スピードに慣れることで、話すスピードがアップし、リスニングの向上にもつながります。

大人の脳は子供と違い、理解していない言葉や知らない言葉をそのまま音声だけ真似るといことが難しいので、シャドウイングを通じて、知識を豊富にし語彙力もアップする事が大切です。

「教材」

シャドウイング用の内容を録音したカセットテープを用意します。手持ちのテキスト付属のテープをそのまま使用してもいいでしょう。テレビやラジオのニュースをテープに録音するものよいですが、アナウンサーのニュースを読み上げるスピードはかなり速いので、自分のレベルを考えて選んでください。スピーチや講演会などの録音、インタビュー番組の録音などは臨場感りんじょうかんがあって、興味深く学習できると思います。

「訓練方法」

発言者の言葉の後を、発言者と同じ言語で影のように追う練習です。